

# 沖縄の防災における 地理空間情報の活用例

GIS沖縄研究室

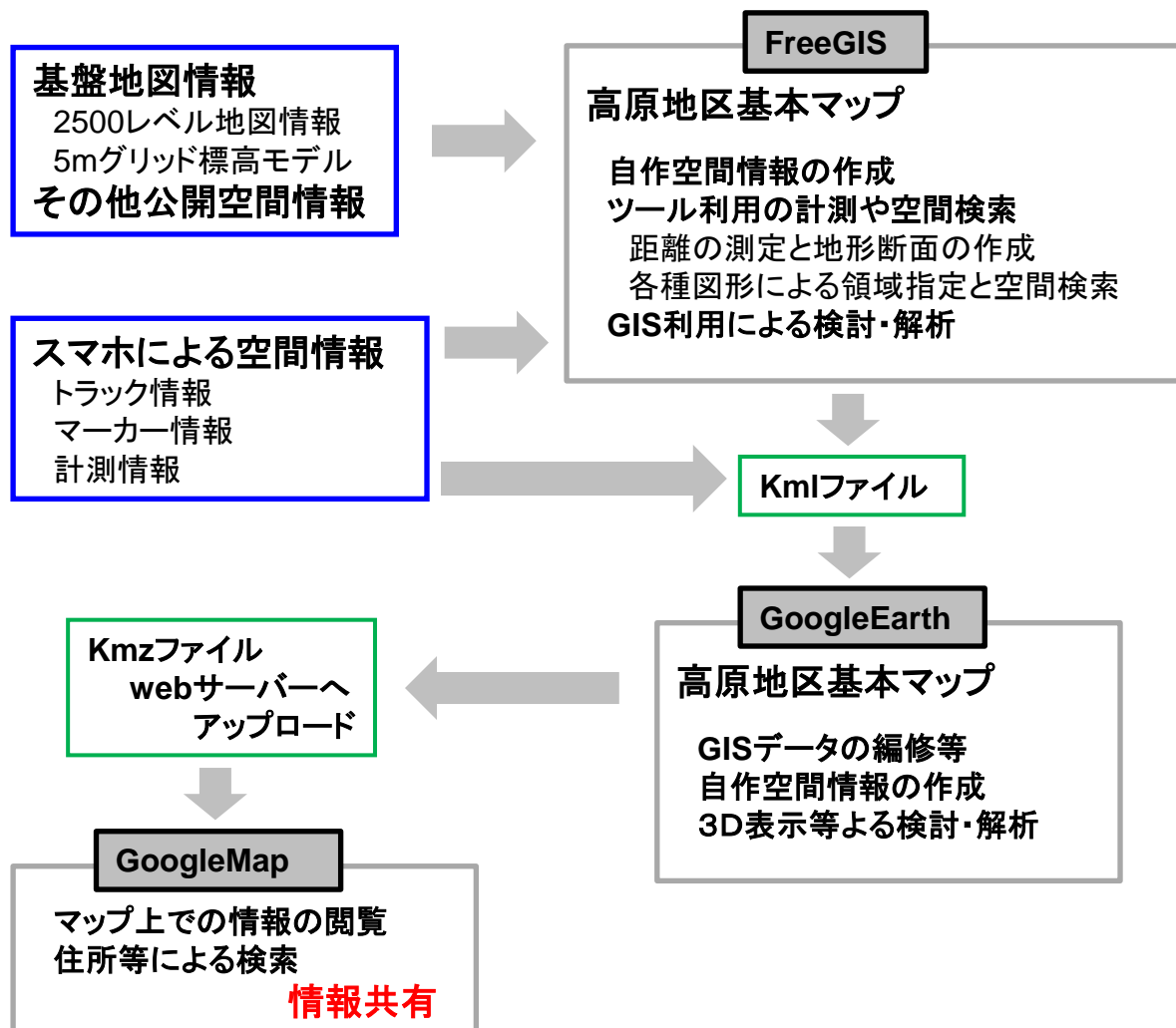
渡邊 康志

キーワード 安心・安全 基盤地図 フリーGIS

沖縄本島中南部は沿岸に埋め立て地が広がり、多くの公共施設、商業施設、観光施設が存在し、人々が多く集まる地域である。3.11東日本大震災以降、このような地域を中心に、津波に対する防災意識が高まった。GIS沖縄研究室は沿岸部の標高マップの公開や、ワークショップ開催により、GIS・空間基盤情報利用による防災情報の普及に努めた。

このような中で、沖縄市高原自主防災組織より、GISを利用した防災・減災情報の作成、利用について協力を要請され、国土地理院基盤地図情報等の公開情報と、Free版GISソフト、グーグルマップなどを組み合わせた仕組みを作り上げた。

今回は、この地域をモデルとして空間情報の取り扱い法を紹介する。他の地域での防災・減災情報の作成の参考にできれば幸いである。



国土地理院基盤地図情報は防災情報基盤として非常に重要である。また、インターネットで公開された空間情報もGISでオーバーレイすることで防災情報として活用可能である。さらなるデータ整備に期待したい。